

平成 22 年度 事業計画

1 振興奨励事業

(1) 産業教育功労者表彰

- ・ 中学校技術・家庭科教育功労者
- ・ 専修学校・短期大学教育功労者
- ・ 御下賜金記念産業教育功労者

(2) 産業教育研究団体に対する奨励助成

農業、工業、商業、家庭、定時制・通信制、中学校技術・家庭科の各研究会

(3) 東京都産業教育振興会（都産振）作文コンクールの実施

中学生、高校生、専修・短大・高専生に対する作文募集を行い、その中から最優秀賞、優秀賞、佳作を決定し、賞状と賞品を授与する。

(4) 優良卒業生に対する表彰

本会並びに産振中央会の表彰状の交付及び授与を行う。

(5) 産業界会員（永年会員）の表彰

永年にわたり産業教育の振興に尽力され、かつ本会の発展に貢献された企業に対して感謝の意を表する。

(6) 後援名義使用

産業教育の普及向上に寄与する事業を実施する団体及び事業に対し、本会の後援名義使用を承認する。

2 産学交流事業

(1) 産学懇談会の実施

3 情報連絡事業

(1) 会報「東京の産業と教育」の発行

第 138 号を 7 月中旬、第 139 号を 11 月下旬に発行し、会員及び関係機関等に配布する。

(2) 会誌「東京の産業教育」の発行

第 48 号を 2 月下旬に発行し、会員及び関係機関等に配布する。

(3) 作文集「明日に生きる」の発行

第 21 号を 2 月下旬に発行し、会員及び関係機関等に配布する。

(4) 「都産振」のホームページの更新

(5) 産振中央会及び各道府県産業教育振興会との情報交換・連絡

(6) 全国産業教育フェア(茨城大会)及び全国産業教育振興会連絡協議会、振興大会への参加

4 会員増加運動の推進

(1) 各会員校の協力を求める他、企業会員から他企業への本会の紹介、入会の勧誘等、協力を願う。

(2) 産業教育に理解ある個人を入会しやすくするため、年会費を 5,000 円から 2,000 円に引き下げる。